

今日は第 11 回目の子育てふれあいサロンです。という事は、11 年前から始まって、僕は 5 回目くらいから出ていると思うんですね。毎年 1 回じゃないかも知れませんが。あ、4 年前から？ 段々回を重ねると顔馴染みというか。大人になったら、4 年 5 年経っても余り変わりません。でも、子供のゼロ歳と 4 歳、2 歳と 6 歳、6 歳と 10 歳って全然違いますよ。

人間がオギャーと産まれた時、他の哺乳類と徹底的に違うのは、脳が未完成の状態に出て来る事だと言われています。他の草食動物は脳が完成して出て来るので、産まれてすぐに自分の足で立って、歩いて、跳ねたりする。赤ちゃんの場合はずっと寝たきり。私たちも最後はあそこにみたいな感じですけど。

脳は生後、特に 3 か月・3 年、そして 28 歳で完成すると言われています。一番の成長期には骨も筋肉も成長しますが、骨や筋肉をコントロールする司令塔が脳。ここが赤ちゃんの時、猛烈な、もう猛烈な勢いで成長するので、別に留学してないのに、大阪で育った子は大阪弁べらべら。自由自在に話ができる。言語だけでなく、この時に植え付けられたものは、後々大きな影響を与えると昔から言われていますね。

僕は去年 6 月に、カリフォルニアの日本人クリスチャンの方たちに招かれて聖書講演をして来ました。カリフォルニアはロサンゼルスですよ。ロスと言えばハリウッド。カリフォルニアまで行って、1 回も行かれへん。「ハリウッド見たい。」「クリスチャンでしょ？」クリスチャンでも見たいもんは見たい。「アカデミー賞受賞のレッドカーペット、ちょっと歩かしてや」と。あれは賞の時に敷くから無いけど、場所は行って来ました。誰も見向きもしない。皆同じ事して(ピースサインで写真)。

ハリウッドスターたちの手形が地面にあって、びっくりしたのが、ビリー・グラハムの手形があった事。ビリー・グラハムはクリスチャンの伝道者です。「この人も?! さすがアメリカやな。」

色んな手形があるのですが、手形を付ける時は、柔らかいから手形になるんです。固まってしまったら、色んな人が触っても手形は全然ぶれない。柔らかい時に付けた手形は、固まったら、ずっと揺るがないものになるんですね。

3 か月とか 3 歳とかの幼い時、その時に経験した事を生涯忘れない基準として焼き込まれるような柔軟な脳の時に、握りこぶしのようなのではなく、良い手形・暖かい手の平のような手形・良い形をいっぱい植え付けてもらったら、大人になって行った時、それが財産になるんじゃないかなと思うんです。

家庭環境の中で、親が子供に与える事ができるのはいくつかあると思いますが、公文(くもん)は後でいいです。英会話も後でいいから。やっぱり愛着。これに尽きると思います。

小林一茶(こばやし いっさ/1763-1828)という俳句の名人、ご存知ですよ。名前は聞いた事あるでしょ？ 長野県から北の方の新潟まで講演旅行に行った時、エスコートしてくれた宣教師の人が「一茶記念館」に連れて行ってくれました。門を入ったら「一茶は家庭をこよなく愛した俳人であった。」

「はいじん」、廃人じゃなくて俳句の人の事ですよ。一応言うときます。で、代表的な句が書いてあります。

お殿様が「俺も俳句をもっと上手になりたい。小林一茶はすごい名人やから、お城の中の俳句研究会に講

師として来てくれよ。どうやったらいい俳句になるか指導してくれ。」その返信を俳句で返す。粋やね。「ごめんなり将棋の駒は箱の中」。意味、全然分からへんやろ？

将棋は勝負するゲーム。敵陣と味方に分かれて王様を取るというゲームですよね。勝ち負けを決する試合だから緊張があります。将棋の駒には「王」もあれば「歩」もあって、上の人もおれば下っ端もいて、色んな序列がある。彼にとって上司・偉い家老たち・武将たちの前で俳句指導するのはしんどい。緊張。

将棋の駒は、試合中は取ったり取られたりだけど、試合が終わったら箱の中に全部入れる。箱の中の駒は上も下もない。勝ちも負けもない。

「私は俳句作りで色んな所に行くので、殆ど家庭にいる事ができない。だから、家に帰ったら家族サービスを徹底的にしたい。家族との交わりをたっぷり取りたい。私には、家庭は将棋の駒を入れている入れ物のようなもので、ホッとする所なので、ごめん。やめて。」

小林一茶は町人です。元々農家出身。土農工商の1番下。それが1番上の王様の好意的申し出に「(*断りの)いいです」と言ったのは、中々家にいる事ができないので、家庭の交わりを持ちたいという…。

皆さんも会社に行ったら、ブラックじゃなくてもブラックな気分になる事ってありますよね。家庭の中に仕事を持ち込むんじゃなくて、家にいてる時くらいはホッとしたいじゃない。特に、子供にとって家庭は「世界」です。

一茶記念館に、彼の生涯が年表と写真で展示してあるのですが、それを見て、生涯忘れられない衝撃が走りました。小林一茶には子供が4人いてるんですよ。

長男が「千太郎」。千歳まで太く生きる男。細く長くは嫌。太く長く。というのは、彼が結婚したのは51歳。子孫残されへんのちゃうとか色々心配した。だから、生まれて来た男の子、かわいいてかわいいて仕方がなくて、武将でも侍でもない町人やのに千太郎。強そうな、武士の名前みたいな名前ですが、生まれて28日で亡くなるんです。

次に女の子。賢い子に育ちますようにと「賢い/さとい」で「さと」。天然痘で1歳で亡くなりました。

2人の子を立て続けに亡くしたから、今度の子は頑丈な子に育て欲しいという願いを込めて「石太郎」。石はストーン。石太郎が転がったらローリングストーンズ。石次郎じゃない。次男だけど太郎なんです。逞しい男の子にと。生後100日で亡くなりました。

次に生まれた子は光り輝いて見えた。くすまない金属・金で「金三郎/こんざぶろう」。さすがに、太郎だったらお伽話になるでしょ。まさかり担いで金太郎。そういう訳にはいかんやろう。で、金三郎と付けるのですが、1歳半で亡くなった。

金三郎ができた時、一茶は60歳。もう最後のチャンスと思っているし、今まで3人の子供を亡くして、「この子は!」と思っていたら亡くなって。

しかも、金三郎が亡くなる前に、彼を産んだ妻が、産後の肥立ちが悪くて37歳で亡くなるんです。1年で妻と子供のお葬式をして、一人ぼっちになってしまいました。その時の俳句が本当に迫力ある。作品の質がどんどん深められて行くんですね。

でも、今日はそれを言いたいのではなく、何でそんないかつい名前を付けたのか？
次々子供を失うと、「今度の子供だけは長生きして欲しい！」それで石太郎・金三郎。

私、前から自分の「剛一郎」という名前、いかついなと思ってたんです。我ながら。
わたくし、高原剛一郎と言いまして、金剛石の「剛」・ナンバーワンの「一」・男の中の男という意味の「郎」。
自分で言うても恥ずかしくなるような、欲張りやろ・取り過ぎやろという感じなんですけど、何でこんな
ごっつい名前付けたんかなと。

その年表見て「待てよ。もしかしたら…」と思って、一茶記念館から大阪にいる母に電話しました。
「お母さん、僕に兄貴いてた？」私長男です。「僕に兄貴いてた？」「誰に聞いたん？」「いてたん？」「いてた。
だけど、産まれる直前に流産で亡くなった。」
それを聞いた時、なぜ父が私にこの名前を付けたのか、理由が分かったように思いました。

1歳の時に父を亡くしたので、私は父親の顔を覚えてない。声も覚えてない。エピソード何も覚えてない。
はっきり言って、父がいないという事で寂しいと思った事、1回もないんです。なぜかという、思い出
がないので喪失感を持ってないんですよ。私にしたら、初めからいない人と同じなんです。
だから「父」と言った時、イメージというか父親像が出て来なかった。

だけど、「そうか。私の前に男の子がいて、その子が死んで、『次生まれて来る子は絶対強く生きて欲しい。
強く長生きして欲しい』」と思って、こういう名前を付けてくれたんか」という事が分かった。
その時私38歳。それを日記に書きました。その時ね、何とも言えない力がふつつつ湧いて来たんです。

38歳。40前のええ男が「俺は生まれて来た時、熱愛されて生まれて来たんだ」と確信できた時、もう何
とも言えない力が湧いて来るというか、これ、生きて行く勇気ですよ。「俺は生きてていいんや。人生は
捨てたもんやない。生きてたら絶対いい事ある」というものを、40前にして改めて味わった時に思った。

40前の男でも、愛されていると確信した時こんなに力が出て来るのなら、あどけない・無力の・物知りじ
ゃない子供の時に「僕、愛されてるんや！」という事がほんとに伝わったら、どんなお金の財産残すより
も、人生に於いてずっと語り続ける言葉になります。

『チェリー』あるじゃない。スピッツの。何の話やと。あの詩、いいよね。「愛されてるといふ響きだけで
強くなれる気がした。」僕が伝道者になった時、ちょっと前にそれが流行ってたんです。それを口ずさみ
ながら会社に行った事をよく思い出しますが、スピッツ分かる？ 犬ちゃいますよ。

子供は無力やから、生まれたら、お母さん中心に回るんです。お腹すいた。自分でトースト焼けない。お
米炊かれへん。オシメ濡れた。自分で脱着でけへん。とにかく、依存しないと生存できないんですよ。

だから、泣いている時不安です。不安だけど、泣いたら、次の瞬間大丈夫なんです。
不安・大丈夫。不安・大丈夫。不安・大丈夫。これを何百回も何千回も繰り返す。
不安～だけど大丈夫だった。不安～だけど、また大丈夫だった。不安～だけど、またまた大丈夫だった。
何百回も繰り返す。

柔らかい時に「困っても、どこかで誰かがやって来て、自分の力では解決できない事を何とかしてくれる
んだ」と何千回も繰り返されたら、それ、手形になるじゃない？

泣こうが・叫ぼうが・わめこうが来ないとなったら、泣かない赤ちゃんになってしまうんです。
泣かない赤ちゃんは、聞き分けがいいんじゃないかと諦めています。

「サーカスの象」という話、聞いた事ありますか？ 木下大サーカスやポリシヨイ大サーカス、猛獣使いが出て来て色々しますが、あの猛獣や象は、杭に細い紐で繋がれています。それだけで、逃げない。象のパワーでパオッてやったら、杭は根元からゴンと抜けて、解放されますよね。でも、象はそれができない。

まだ力がない小象の時、絶対に抜けない杭に結わえられていて、抜こうとした～ダメだった。でも抜こうとした～ダメだった。思い切り抜こうとした～でもダメだった。やればやるほど足に食い込むロープの痛みで、やればやるほどひどい目に遭う。

というのが象でも、象でもと言ったら怒られるけど（誰に怒られんねん）、象の脳が柔らかい時に「この杭に結わえられたら、僕は逃げ出す事ができないんだ」とビシヤッと焼き込まれたら、大人になって、そこから脱出できるパワーを身に付けていたとしても、それを発揮する事ができない。

どういふものを最初に焼き込まれるか。もし間違った焼き込みをもらったとしても、人生ってどこからでもやり直す事ができるから、「もう駄目だ」という事は絶対に言えません。

言えませんが、わざわざハードルを高くする必要はないじゃない。頼まなくても、人生にハードルは出て来ますよ。愛されて育った子供でも、大人になって行ったら、次々にハードル・辛い事、出て来ますよ。出て来たでしょ？ まだ出て来てない人は、これから出て来ます。安心して下さい。生きてて楽な事ってないから。これからあるから。

だけど、特に子供の脳が一番成長するこれからという時に、「大丈夫なんだ。何か信用できるものがあるんだ」という事、そんな感覚を持てる素地を作るといふのは、お父さん・お母さんの特権だと思います。

聖書を見ると、愛する人に愛を伝える一番良い方法は、プレゼントもいいけど、やっぱり一緒にいる事なんです。聖書の中にイエス・キリストの生涯を記録している文書が4つあって、これを「福音書」と言います。これは一生に1回は読んで欲しい。

「読むの嫌やねん。字苦手やねん」と言う人にお薦めしたいのが『ドラマで聴く聖書』。
日本の一流俳優・声優陣 150 人が聖書の朗読をやっていて、メッチャクチャええです。
効果音も入ってる。「その時、神は言われた。『光あれ。』」キラキラリン♪ ついつい聴いてしまいますよ。
1章で終わろうと思ってたら、もう3章までみたい。非常に引っ張ってくれます。しかも、タダ。
皆さんが大好きな言葉ではありませんか？ 無料。しかも、これをダウンロードすると、旧新約聖書買わなくても、スマートフォンに文章で全部入って来る。いいですか？ タダ！
なので、是非ダウンロードして、聞いて頂いたらいいと思います。

最初の福音書が**マタイの福音書**で、その最後に「**見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。**」(マタイ 28:20)

ヨハネの福音書では、「神様は人間を愛しました。どれくらい愛しましたか？ ひとり子イエス・キリストをこの世に与えるほどです。」(ヨハネ 3:16)

この世の人たちが、「キリストがこの世界に生まれて、一緒に住んでいて下さったんだ」と。

一緒にいるという事が愛の具体的な形。だから、親が子供と一緒にいる時間はすごく大事で、色んな事情で難しい場合もあるかもしれないけど、何としても、それを死守して欲しいと思う。

特に、3歳までは死守して欲しいと思います。

今LGBTの問題があるじゃないですか。ほんまに苦しんでおられて。好き好んで、そうなったんじゃないんです。だから「おまえ、何だ!」と、僕は絶対に言いたくない。

自分の性の問題で、同一性障害を持っている場合、つまり、身体は男で生まれて来てるんだけど心は女とか、身体は女だけど心は男ですとか。男らしさ・女らしさって、僕はどうやって身に付けて来たかな。

私の末っ子は娘です。もう一人立ちしてて、いないんですけど、彼女が4歳くらいの時、時々ドキッとする事があった。それは、家内の仕草そっくり。それから言う事、そして怒った時、腰に手を当てて。(腕を曲げて腰に当てる)。家内は怒った時、仁王立ちで腰に手を当てて、片方の手で…。それを全面的に取り入れて、取り入れているというより乗り移った…。何かこう、乗り移った…。サイコな感じ。

生まれつき、そういう表現方法を持って誕生したんじゃないんですよ。

お母さんを通して、女性性というのを取り込んで行ったんですね。

だから、男の子が男性性を取り込もうと思ったら、「男だから、ほったらかしにしてても男になるんだ」というのではなく、男の子はお父さんとの関係です。

お父さんという身近な理想的男性を通して、自分の中に男性性を取り込んで行く。

性の違和感を感じるというのは、生まれつきの問題ではないです。後天的なもの。これについて詳しく知りたい方は、私のこんな中途半端な話よりも、ファミリーフォーカスという所が『男の育て方』というDVD2枚組を出しています。ものすごく明快です。

ネットで販売されているので、是非調べてみられたらいいんじゃないかと思います。

とにかく、1つ目のポイントは「一緒にいる事」です。

色々な事情で、幼い時から保育園に預けなければならない事もある。もう、のっぴきならない事情という事もあると思います。それは、親でなくても親代わりであってもいいと思いますよ。

私は4歳までシングルマザーで育ちましたからね。シングルマザーでも、こんな風に男らしく…エヘヘ。成長する事ができます。でもそれには、私にもやっぱり「男って、こういうもんじゃないか」というような、父親じゃないけれど、「男とはこれだ」みたいなモデルになってくれる人がいたんですね。

この事は感謝しています。という事で、第1点は、一緒にいる時間を何としても確保なさって下さい。

2番目のポイントは、「親も天の親を持つ」という事です。子供が育つためには絶対的に親が必要ですが、では、親は1人で全部やり遂げる事ができるか? それね、無理ですよ。

周産期センター。出産に問題を抱えている妊婦さんたちに、きめ細やかなケアをするための病院があります。そこでの論文を昔読んだ事があって。正確な記憶ではないので、間違っていたらごめんなさい。

妊娠6か月で産まれた子。6か月って。今の技術で育つんですね。育つというけど、そのためにドクターとナースは目をつり上げて、刻一刻と変わる状況で、「何とかこの命を生かさなければ!」と走りまくって、戦場の赤十字病院みたいな感じになっている中、そのお母さんが不熱心。というか、自分の子供に無関心。医療スタッフは「私たちがこんだけ頑張ってる、この小さい命を生かそうとやってるのに、産んだお母さん自身が何でそんな冷ややかなんですか?!」言わへんけど、やっぱり伝わる。オーラで。

その病院が臨床心理士、カウンセリングの特別な訓練を受けている人をボランティアで招きました。臨床心理士が医療現場で必要とされるのは、主に心療内科や精神的な病院。臨床心理士が周産期センターに行っても、別に聴診器当てる訳でもないし、注射打つ訳でもない。暇やねん。ブラブラしてる。このブラブラしてるっていうのが大事。

お母さんも子供を見るのが嫌やねん。愛情が持てない。
ふと見ると、病院の中で唯一、眉がつり上がってない、暇そうにブラブラしてる奴がおる。

お母さんの方から「ちょっと、お話いいですか?」と話しかけました。「どうしましたか?」「私、この子を愛せないんです。ドクターたち、一生懸命頑張ってくれてるけど、無理に生かして重度の障害とか残ったら、私、よう育てません。この子、もう髪の毛生えてて、あか抜けてて。自分の子や!と実感も愛情も湧きません。言っていていいですか? 私ね、死んで欲しいと思ってます。」
臨床心理士は「そうですか。」「そうですか。」「そうですか。」聴いて。

2週間後にまた行きました。そのお母さんが来て「前回、あんな事言っちゃいましたけど、子供が一生懸命頑張って生きている姿を見ると、私もブツブツ言わんと頑張らなあかんという気持ちが、ちょっと湧いてきました。」前と違って、受容的になってるんです。

皆さん、相反する感情、ありませんか? 例えば、好きなものでも、ちょっと嫌いなところあるみたいな。僕は皆さんに聖書の価値観をお話するのが好きなんです。好きなんですけど、時々嫌になる時ある。「そなん、あるんか?」あるんです。終わった後で、何かこう、誤解に基づくしつこいクレームなんかを聞いていると、「もう、行ったれへんわ」みたいな気持ちがふっと。ありますよ。

心の中のマイナスの気持ちを一旦肯定して、「私、正直なところ、こんなん思てんねん」と、吐き出すだけ吐き出し切った後で、プラスに変わる事ありませんかね?

それを「こんなん、思ったらあかんねん!」とフタして、グーッと抑え込んでいたら、自分でも何につっかえているのか分からなくなって、何か知らんけどイライラしてんねん。何か得体の知れない怒り・得体の知れないイライラで、それが一番弱い人に向く事があります。家の中で一番弱い人って子供じゃない?

ドクターやナースに言われへんやん。そなん言うたら、「私たち医療スタッフがこんなに頑張ってるのに! あなたは〇%&△X!」で、「ごめんなさい」と。

不安は罪悪感から出てると思うんです。「子供は神様が授けて下さったのに、私がこんな子を産んでしまって…」のような感覚ですよ。

それで「(胸を叩きながら)私はダメな母親だ」と責めたりする事を打ち明けた時、「あなたの責任ではありませんからね」と言われたら、そこで話は終わるよ。

「あなたの責任ではない」と言って欲しいのではなく、「子供から離れたいんです!」という醜い気持ちを受け止めて欲しいという事ですよ。

さっきもちょっと言いましたが、色んな所に行くと、おかしい人とか、特別な団体の方がおられたり。YouTube180本上げてて、「いいね」の約10%が「No Good」。初め、コメント欄作ってたけど廃止にしました。コメントって自殺したくなるような、もう人格攻撃。ひどいよ、これ。ひどいよ。

そして2チャンネル。「高原さんの事が2チャンネルに書いてありましたよ。」読まなきゃいいのに、ちょっと調べてみたら、もうね、ムチャクチャ書いてある。二度と見ません。匿名なら、どんなにひどい事を書いてもオッケーと思っているかもしれません。

だけど、批判する人は何も提供しなかった人です。提供した人・クリエイトした人だけが批判される。作家だけが批評家から批評されるんですよ。批評家は批評されない。僕は作家なのでね。クリエイターなんですよね。

でも色々言われた時、やっぱり家に帰って家内に言うんです。「今日、そんなつもりで言うたんじゃないんやけど、こういう誤解に基づいて、こんなん・あんなん言われて…。」

その時、「あなたの言い方が悪いからよ」とか、お説教されたら、二度と言わなくなるよ。或いは復讐すると思うんですけど。妻に復讐するようなね。復讐された事、ないですか？それは聞かない方がいいね。

例えば、わざと返事しないとかさ、あるよ。そういうチクッと、やるよね。だけど彼女は賢いから「そう…。」それで、そう思っているかは別として、私の10倍くらい怒ってくれるんですよ。

「そういう人はね、成敗せなあかんね。」「そ、そこまで言うてへんがな。ちょ、それ言うな。」

その時私は、何というか、私の立場に立って、本人よりもカンカンに怒っているのを見ると、癒されてんねん。その時に。そういう事ってない？あると思うよ。

そのお母さん、「死んでくれた方がいいと思ってるっ！」論理の立たない、「おまえ、それでも母親か？」というような事をいっぱい言うんだけど、「そうですか。」「そうですか。」「そうですか。」

話を打ち切る事なく、お説教をする事なく、全部聞いてくれる人が病院に突然現れたんです。

この全部聞いてくれる人が、言わば心の中のごみ箱のようになって、自分の中にたまっているものを全部受け止めてくれた時に、そこから徐々に回復されて行ってるんですね。

このダダこねているお母さんは、親なんだけど子供みたいだと思わない？でも、親だって限界があるし、親だって、余裕がなくなって追い詰められて行ったら、子供みたいに泣きたい時や、辛い事・苦しい事ありますよ。

去年の夏、80歳ちょっと超えた大先輩のクリスチャンと話をした時、彼の名前が女の子みたいな名前、今でも「〇〇さんの名前って、女の子みたいですね」と言われたら「80になっても傷つく」と言ってました。歳取ったら傷つかないと思うなよと。思ってへん？

おじいさん・おばあさんには、ちょっとひどく「もう、何言うてん！」とかぞんざいに言っても、「向こうも減らず口叩くし、傷ついてない」と。人間やで。入れ物がシワ・シミ付いてるだけで、中身は心やで。心は傷つくよ。何歳になっても。僕みたいに40歳になってもね。(嘘です。)傷つくもんですよ。

何を言いたいかというと、親が子供に良いものを与えるためには、親自身が幸せである事が大事だと思うんですね。

最初の家内が10年くらい前に癌で亡くなったんですけど、2か月間の闘病期間がありました。

癌はその日その日によって、体調が全然違うんです。その時、私たち残りの家族4人の幸福度は何によって決まるか？彼女の体調です。

朝電話した時、お母さんが「ああ、今日は元気よ。大丈夫よ」と言ったら、一日中、天にも昇るような気持ちになります。でも、夕方病院に行くと、ぐったりしている様子を見たら、死にそうな気持ちになる。

お母さんがしんどそうにしていると子供もしんどい。お母さんが不幸せそうにしてたら、子供は「自分に責任あるんじゃないか?」と思って、親に気を遣うんですよ。甘える代わりに大人の、背伸びして・無理して、お母さんのお母さん役を演じようとしたりします。逆に、お母さんが幸せそうだったら、何か子供まで嬉しい。

普通、臨床心理士は病院に行けへんかったらおれへんねんけど、普通の家庭で臨床心理士の役をしてくれるのはパートナーです。夫にとって最高の臨床心理士は妻。妻の最高のカウンセラーは夫。であつたらいいですね。

どうやって子供を育てたらいいんだらう? 聖書の教えは、子育ての前に「まず妻は夫を尊敬しなさい。夫は妻を愛しなさい。そして子供は両親を敬いなさい。」この順番で書いてあります。

お母さんが子供にできる最高の教育は、その子の父親/自分の夫を愛する事・尊敬する事。お父さんが子供に最高の教育を施そうと思うなら、その子のお母さん/自分の妻を愛する事。お父さんとお母さんが互いに尊敬し合い愛し合い、同じ価値観で生きてたら、問題が起きててもチームで2対1で取り組んでくれるから、解決が全然違って来るんです。

なので、2番目のポイントは「親も天の親を持ち、親自身が幸せになる事。」親が幸せそうにしてると、子供も幸せな気持ちになる。「でも中々、伴侶は直せない。全然対極です。」その場合は、個別でまた話を聞いて頂いたらいいと思うんですが。

聖書の神様は私たちの作者です。何か作品を作ると取扱説明書があって、「こうして下さい」とは逆に「絶対にこれだけはしないで下さい。」水掛けたら駄目とか、このボタンだけは絶対触るなとか。電源入れた状態でコンセントから引き抜かないでとか、必ずアースを取って下さい。ノイズが入りますなど、あるでしょ? 読んだ事ない人は危ない人です。家電製品買って、読まんとしてすぐにボタン押すタイプの人ですね。

私たちの作者は、聖書という人間の取扱説明書の中に「これとこれとこれとこれをやったら、絶対不幸になるからやめとき」というのを書いているんです。この、やったら絶対に不幸になる事を罪と言います。「これとこれとこれとこれをやったら、必ず不幸になれるのでどうぞ!」ではなくて「やめなさい。」

逆に、ここに解決がある。答えがある。ここというのはイエス・キリストです。聖書の中に具体的な答えがあります。それはまた個別でお話しできたらと思います。

この機会に、聖書の分かり易いお話もこの集会でなされているので、年2回の子育てサロンだけでなく、また是非お越し下さい。明日(日曜日)の朝7時45分からラジオに出ますので、また聞いて下さい。ラジオの前でペン振るとか、バスタオル投げるとかして、応援して頂けたらなと思います。

~~~~~

\*動画は YouTube で「HCA 東住吉キリスト集会」検索。是非見て下さい。  
\*ラジオ番組「聖書と福音」(15分)も是非どうぞ。YouTube もあります。 動画筆記 : Rumi

